



セイント 聖☆おにいさん

SAINT
YOUNG
MEN

2000年以上もの間、人々の心の支えとなり、敬われ、愛されてきたキリスト教の救世主イエス・キリストと仏教開祖のブッダ。もしそんな2人が現在、平成の世の日本に住んでいたら……。この漫画は実際には到底あり得ない、イエスとブッダのユーモラスな東京暮らしを描いた作品である。

人々を見守る聖人として天界で暮らすイエスとブッダは、バカンスとして東京の立川にやってきた。2人はその正体を隠しながら、一見どこにでもいるようなロン毛とパンチパーマのおにいさん2人組として下界での生活を送ろうとする。だが、これほど偉大な2人が一般人と同じように暮らせるわけがない。彼らのありあまる聖人としての力は、現世でも様々な奇跡を呼び起こす。例を挙げればキリがないが、イエスは銭湯のお湯を葡萄酒に変えてしまうし、ブッダは後光が

射すがごとくその身体から光を発してしまうといった始末だ。傍から見ればかなり怪しい2人組のだが、そんなことは意に介さず下界での暮らしを満喫していく。

主な登場人物はイエスとブッダだけではあるが、宗教色が強かったり堅苦しいということは全くない。イエスは自分がジョニー・デップに似ていると言われ喜ぶほどお茶目であったり、ブッダは儉約家でスーパーの安売りやオマケに目がなかつたりなど親しみやすいキャラクターとなっている。ネタもキリスト教、仏教関連のものが多いが、「ユダの裏切り」や「断食の修行」など一般常識があれば分かる範囲のものばかりであり、もし分からなくても楽しめるような内容になっている。良い意味で敷居の低い漫画ということができるだろう。

この作品は宝島社の「このマンガが

すごい！2009」という漫画評論本において男性からの圧倒的な支持を受け、オトコ編では1位を獲得している。また、2009年度の朝日新聞社主催の手塚治虫文化賞の短編賞も受賞した。作者の中村光は弱冠25歳であり、まさに新進気鋭の若手女性漫画家といえよう。

老若男女に関わらず誰もが楽しめる作品である。普段漫画なんて読まないという人も、最近笑いが足りない人も、是非一度読んでもらいたい。



中村光 著／講談社
定価：本体552円
第4巻まで発売中



材料

※約10個分

●合挽き肉	100g
●もやし	100g
●おろししょうが	小さじ1
●しょうゆ	大さじ1
●みりん	大さじ1
●サラダ油	少量

作り方

- ①ボウルに細かく切ったもやし、合挽き肉、おろししょうがを入れてよく混ぜ、一口大に丸める。
- ②フライパンにサラダ油を熱し、①を入れ中火で表面を焼き、ふたをして中まで火を通す。
- ③別容器にしょうゆとみりんを混ぜ合わせておき、②に回し入れ全体にからめる。



調理時間
約10分

はみだし
すてーじ

おにくがたべたい
⇒よかったです。今回のCookingは肉料理ですよ。

(工・3 らくだ)
(でもそれ以上にびーるのみたい；編)